

Razfahd (ミッション編)



ヒューム、2a (黒髪)、通常配置無し

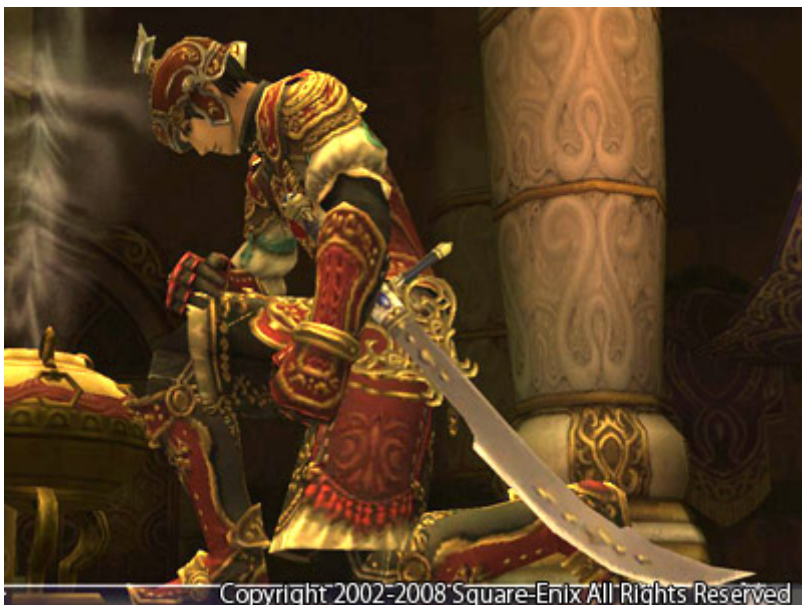
家族構成：妹 (Aphmau)、父 (Jalzahn) 死去

若年でありながら聖皇より意を受け、最も近き位置で政に従事しているアトルガン皇宮の宰相。

本来聖皇親衛隊の不滅隊を直属部隊として率いる。

アトルガンミッションでのラズファード宰相

Aphmauの兄として宰相として、そして対立する敵としてラズファードはアトルガンミッションにおいて最重要人物の一人と言える。ここでは彼のミッションでの動向をまとめていく。



初登場は「双蛇の謀」。

AmnafとRishfeeからアルザダール海底遺跡の報告を受ける。それを聖皇Nashmeiraに報告。Nashmeiraの命により調査をしている事を印象付ける。

しかし聖皇は「民の噂話」である幽霊船に興味を示し、Aphmauに調査を命じる。



Nashmeiraが自分の名を騙り冒険者（プレイヤー）を皇宮に招き入れた事が発覚。
この間東方戦線を調査していた様子。
Nashmeiraに立場を弁える様しかりつける。マトンたちに「過保護」と茶化されて怒る。
海外からの客としてKarababa女史を迎え入れる。歓迎の出迎えにAmnafを遣わす。



Rishfeeからの報せを受け、倒れたAphmauを自ら救出にエジワに向かう。
この際冒険者と初対面。他言無用と念を押すも、Aphmauを助けた事に感謝を述べる。

（以後ミッションはKarababaに焦点を当てるためしばらく登場しない）

サラヒム・センチネル社に冒険者を皇宮に召喚する書状を送る。
Amnafからの報告により冒険者が魔笛調査をしているか確認をする。
（このシーンは冒険者の行動が筒抜けである事も印象付ける）
冒険者を見込み、現在皇宮でおきている事件、Aphmau失踪を冒険者に明かす。
冒険者を見込み、搜索の協力を要請する。

（以後ミッションは失踪したAphmauとその足取りを追うRishfeeに焦点を当てるためしばらく登場しないが、Aphmauの回想にて、彼女を寺院から迎える光景でラズファードも登場する）



Aphmau 搜索の最終手段として獣人ラミアの協力を得るラスファード。
しかしその現場を Aphmau らに見られ誤解されてしまう。



Aphmau を説得し皇宮に戻す事を試みるが、Aphmau は反発。
自らの過去の事故（青い血の輸血等）を語り、ラミアの安全性を語る。
Aphmau が Nashmeira である事もこの時明かされる。



Copyright 2002-2008 Square-Enix All Rights Reserved

現場で一連を聞いてしまったLuzafが怒りに任せ暴走しOdinが出現。
ラズファードはラミア達をけしかけるが、返り討ちにあう。



Copyright 2002-2008 Square-Enix All Rights Reserved

妹を守るためにも自ら剣を抜く覚悟で挑もうとするが、制止したのがAphmauだった。
Luzafとの同行を続けると宣言し、Aphmauはラズファードと決別。



Copyright 2002-2008 Square-Enix All Rights Reserved

Luzafを庇う形で魔方陣によりその場から消えるAphmau。

この時点で兄妹の道が別れた事が明白になる。

Luzafがからんでいる事により傭兵の手に余ると告げ、冒険者をAphmau搜索の任から開放。

(以後ミッションの焦点はAphmauとLuzafに移行する為暫く出番なし、二人の動向の調査・尾行を不滅隊に命令している)

LuzafとOdinの契約がハザルム試験場にて(不本意ながら)成就、冥路の騎士に選ばれる。現場を押さえ「漆黒のルザフ」とその部下らを一網打尽にする為に不滅隊と登場。



Copyright 2002-2008 Square-Enix All Rights Reserved

Amnafの青魔法がLuzafに危険を報せに来たシャドウである船員を焼き焦がした。



Copyright 2002-2008 Square-Enix All Rights Reserved

反アトルガン要因であり皇国に仇なす「冥路の騎士」Luzafの拘束を不滅隊に命令。



Copyright 2002-2008 Square-Enix All Rights Reserved

激しく抗議するAphmauに、権威剥奪を宣言し、ラズファード自ら全権を握る。妹Aphmauを「裏切り者」「愚妹」と呼ぶ。二人が完全に対立する立場になったと印象付ける。



Copyright 2002-2008 Square-Enix All Rights Reserved

ラズファードとGhatsadのミッション冒頭での調査の全貌が明らかになる。それは白い神Alexanderの復活であり、900年もの間の皇室の悲願でもあった。オートマトンの原理を利用してAlexanderを制御する計画もこの時明かされる。一方Luzafを人質に、部屋に閉じこもるAphmauの協力を促している事も明かされる。



最終的には悲願であるゴルディオス（Alexander）起動にこぎつける。

（以後ミッションは、アトルガンの動向を探り危惧する四国の面々に焦点が移動するため出番なし）



四国からの飛空艇を打ち落とすように命令。事実上宣戦布告をする。



Copyright 2002-2008 Square-Enix All Rights Reserved

四国との戦争の回避、およびラグナロクの危険性を訴えるNashmeiraが現場に現れる。ラズファードはその覚悟を語り、戦争は免れないと発言。Nashmeiraの説得は失敗となる。



Copyright 2002-2008 Square-Enix All Rights Reserved

自らゴルディオスに乗り込み、Nashmeiraの傭兵として同行した冒険者の前に立ちはだかる。戦闘中にゴルディオスが暴走、Alexanderの意思が制御不能になる。兄と国を守るためにNashmeiraがゴルディオスを操る装置を操作、止めることに成功する。しかし現場に駆けつけたLuzafの体内のOdinに呼応するかのようAlexanderが再び動き出す。それに気付かず走り出すNashmeiraの胸をAlexanderの裁きの光が貫く。



Copyright 2002-2008 Square-Enix All Rights Reserved

兄妹共に無意識の瀕死状態の中、二人の意識は別の世界にあった。
アトルガンの為に神々に抗うとNashmeiraに告げるラズファード。



Copyright 2002-2008 Square-Enix All Rights Reserved

Razfahd : もう.....一度.....お前の.....笑顔.....が、見たかった.....。



Copyright 2002-2008 Square-Enix All Rights Reserved

Razfahd :さらば.....だ.....

そしてラズファードは息絶えた。
Alexanderはその直後に動きを停止し、静止する。

孤独な疾走の果てに・アトルガンミッション終焉

すべてが終結し、Nashmeiraの戴冠式が行われる事になった。四国の重役も参列し、東の国との戦況も変わりそうな気配を見せる報せが届く（和議の可能性が出てきた）。アトルガンにもようやく平穩の兆しが見えてきた。そしてからくり工房長・Ghatsadは純度の高いシンチレーターが必要になり王冠をすべて溶かしてしまった事を告白する。その王冠は、彼が必死にパーツを崩れ落ちたAlexanderからかき集め、新たに作り直したOvjangとMnejingのパーツとして使われたのだった。

Mnejing :やれやれ病みあがりだというのに.....乱暴がすぎるぞ.....

Nashmeira :ああ.....メネジン！

Ovjang :ファアアアヨクねタゾ！なしゅめらヨ、ひさシブリダナ！

Nashmeira : アヴゼン！！

Nashmeira : 最高の贈り物よ、ガッサド！2人とも元どおりに.....待って.....！ 今わらわはアヴゼンとメネジンを繰ってないのにどうして.....！？

Ovjang : きニスルナ！

Nashmeira : 気になるわよ！！

Ghatsad :こいつらは旧タイプのオートマトン。からくり師の人形のような自立型ではありません。そのため、自動では話せなかったのですが.....記憶装置は最初からアルザダール遺跡で見つけた部品を再生した超一級のを仕込んであったんですよ。修理を完了し、自立回路をつけた途端、壺を切ったように話し始めまして.....

Ovjang : なしゅめらヨ！ オロオロスルトミットモナイゾ？

Mnejing :お前は戴冠式を進めねばならないだろう？手のかかる.....

Nashmeira :兄さま？

Ghatsad : ははは.....。元の所有者ラズファード様の記憶も残っているようすな。



Copyright 2002-2008 Square-Enix All Rights Reserved

ラズファードの魂（意識）はMnejingの中で目覚めたのだった。今後もマトンという形にはなるものの、妹を見守り続けるのだろう。そして最後に冒険者にもその言葉を向ける。

Mnejing : < PC Name >。これを、つかわそう。

Mnejingから皇国旗を賜った！

Mnejing : これからもナシュメラを陰で支えてやってくれ。あいつはこの混迷の世に未来を灯すこのアトルガンの宝なのだ.....
